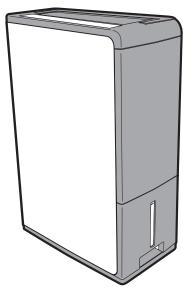
CORONA

コロナ衣類乾燥除湿機

（保証書付）
保証書はこの取扱説明書の裏表紙に付いています。

取扱説明書

シー ディー エイチ
CD-H1813
CD-H1013

このたびは、コロナ衣類乾燥除湿機をお買いあげいただきましてありがとうございました。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり、それぞれの性能を十分にお心得になったうえで正しくお使いください。
なお、お読みになった後もお使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管してください。

この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。
This product is designed and manufactured for use only in Japan. In another country which differs in voltage and frequency of the power supply from Japan, this product cannot be used and any after-sales service is not available.

もくじ

仕 様

（50/60Hz）

型 式		CD-H1813	CD-H1013
電 源		交流 100V 50／60Hz	
除湿能力 （L／日）		16.0／18.0	9.0／10.0
消費電力 （W）		300／330 （ヒーター併用時 600／630）	195／230 （ヒーター併用時 495／530）
除湿可能面積の目安	木 造	33m²(20畳)／38m²(23畳)	19m²(11畳)／21m²(13畳)
	プレハブ	51m²(31畳)／57m²(35畳)	29m²(17畳)／32m²(19畳)
	鉄 筋	67m²(40畳)／75m²(45畳)	38m²(23畳)／42m²(25畳)
排水タンク容量		約4.5Lで自動停止	
総 質 量 （kg）		12.5	12.0
外形寸法（高さ×幅×奥行）(mm)		570×365×202	
付属部品		除菌・脱臭シート（1枚）	

■除湿能力は室温27℃、相対湿度60%を持続する室内で運転したときの1日あたりの数値です。
■除湿可能面積の目安は、日本電機工業会規格（JEM規格）に基づいた数値です。
■待機電力は約0.6W(ワット)です。
■製品は改良のため仕様の一部がかわることがあります。
■長期間ご使用にならないときは、電源プラグをコンセントから抜いてください。

株式会社 コロナ

安全上のご注意（必ずお守りください）

■ここに示した注意事項は、お使いになる方や他の人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくために、重要な内容を記載しています。次の内容（表示・図記号）をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

□表示の説明

表　示	表 示 の 意 味
⚠警告	〃取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷（※1）を負うことが想定されること〃を示します。
⚠注意	〃取り扱いを誤った場合、使用者が軽傷（※2）を負うことが想定されるか、または物的損害（※3）の発生が想定されること〃を示します。

※1：重傷とは、失明やけが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院・長期の通院を要するものをさします。
※2：軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電などをさします。
※3：物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害をさします。

□図記号の説明

図記号	図 記 号 の 意 味
⊘	禁止（してはいけないこと）を示します。 具体的な禁止内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。
●	指示する行為の強制（必ず守ること）を示します。 具体的な指示内容は、図記号の中や近くに絵や文章で示します。

安全に使っていただくために

⚠警告

電源プラグは、ほこりが付着していないか確認し、がたつきのないように刃の根もとまで確実に差し込む

ほこりが付着したり、接続が不完全な場合は感電や火災の原因になります。

必ず守る

電源コードの途中での接続、延長コードの使用・他の電気器具とのタコ足配線はしない

感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

電源コードは折ったり、束ねたり、引っ張ったり、重い物をのせたり、加熱や加工したりしない

電源コードが破損して、感電や発熱・火災の原因になります。

禁止

吹出口、吸込口に指や棒および紙など燃えやすい物を入れない

内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。また、ヒーターが発熱しており、やけどや発火のおそれがあります。

禁止

発熱器具の近くに置かない

樹脂部分が溶けて、引火する原因になることがあります。

火気禁止

交流100V以外で使わない

定格以外の電圧で使用すると、感電や火災の原因になります。

禁止

運転中に、電源プラグを抜いて停止しない

感電や火災の原因になります。

禁止

スプレーなどの缶を除湿機の近くに置かない

爆発や火災の原因になります。

禁止

電源プラグや電源コードが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない

電源プラグや電源コードが異常に発熱し、溶けたり変形して、感電や発火の原因になります。
コンセントの差し込みがゆるいときは、電気工事店に修理を依頼してください。
コンセントを交換しても異常に発熱するときは、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

禁止

⚠注意

除湿機を水洗いしたり、花瓶などの水の入った容器をのせない

除湿機内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になることがあります。

禁止

除湿機の上に物をのせたり、のったり、腰掛けたりしない

落下・転倒などにより、けがの原因になることがあります。

禁止

吹出口や吸込口を洗濯物などでふさがない

風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

禁止

除湿機からの風が直接あたる所で燃焼器具を使わない

燃焼器具の不完全燃焼の原因になることがあります。

禁止

除湿水を飲料用・飼育用などに使用しない

健康を害する原因になることがあります。

禁止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししたり、ボタンやルーバーを操作しない

感電の原因になることがあります。

ぬれ手禁止

スイングしているルーバーにさわらない

指や手をはさむなどのけがの原因になることがあります。

禁止

安全に使っていただくために

⚠注意

上下ルーバーが閉じた状態で、とってを持って移動する

上下ルーバーが開いていたり、上下ルーバーや左右ルーバーを持って移動すると、指や手をはさむなどのけがやルーバーが破損する原因になることがあります。

必ず守る

フロートや、フロートに取り付けられているマグネットや発泡スチロールをはずさない

タンクが満水になっても運転が停止せず、水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

禁止

移動するときは必ず運転を停止し、タンクの水をすて除湿機を傾けない

水もれして家財などをぬらしたり、漏電によって感電や火災の原因になることがあります。

必ず守る

乳幼児、お子様、お年寄りなど、自分で操作できない人にひとりで使わせない

長時間吹出し風を直接体に当てると、体調不良や脱水症状を起こす原因になります。

禁止

除湿機を倒さない

除湿機を倒さないでください。また、横に倒した状態で運んだり、保管しないでください。故障の原因になります。

禁止

お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く

内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になることがあります。

プラグを抜く

キャスターで移動するときは、横方向以外に動かさない

床面を傷つけるおそれがあります。

禁止

長期間使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜く

感電や漏電火災の原因になることがあります。

プラグを抜く

設置について

⚠注意

薬品を扱う場所で使用しない（病院、工場、実験室、美容院 その他）

空気中に溶けた薬品や洗剤により除湿機が劣化し、ひび割れや水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。

禁止

排水ホースを使用する場合は、排水ホースの周囲が氷点下にならないようにする

排水ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内に水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。

必ず守る

水のかかりやすい場所で使用しない

感電や漏電火災の原因になることがあります。

禁止

油・可燃性ガスのもれるおそれのある場所へは設置しない

万一もれて除湿機の周囲にたまると、発火の原因になることがあります。

禁止

水平で丈夫な場所で使用する

ご使用中に除湿機が倒れると、水もれして家財などをぬらしたり、感電や漏電火災の原因になることがあります。

必ず守る

屋内専用なので、直射日光のあたる場所・雨風のあたる場所で使用しない

過熱や感電・漏電火災の原因になることがあります。

禁止

美術品や学術資料などの保存など、特殊用途には使用しない

保存品の品質低下の原因になることがあります。

禁止

熱影響を受けるものは、除湿機の近辺には置かない

温風により変形、変色の原因になることがあります。

禁止

押し入れ・家具のすきまなど狭い場所で使用しない

風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

禁止

連続排水する場合は、排水ホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するようにする

水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。
排水ホースは定期的に点検してください。

必ず守る

修理について

⚠警告

異常時・故障時には、ただちに使用を中止する

- 運転 入/切ボタンを押しても運転しないとき
- 電源プラグや電源コードなどが異常に熱いとき
- こげくさい臭いがしたり、異常な音がするとき
- 電源コードに触れると通電しなかったりするとき
- ブレーカー、ヒューズがたびたび切れるとき
- その他の異常や故障があるとき

必ず守る

異常のまま運転を続けると故障や感電・火災の原因になります。運転を停止して電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターに修理を依頼してください。

分解・修理・改造をしない

火災・感電・けがの原因になります。
修理は、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターに依頼してください。

分解禁止

知っておいていただきたいこと

■運転可能なお部屋の温度について

- ■運転可能なお部屋の温度は5℃～40℃です。
- ■お部屋の温度が38℃を超えると、除湿機内部の温度が上がるため、保護装置がはたらき除湿せずに送風運転することがあります。室温が高くなるときは、上下ルーバーを「上向き」にしてお使いください。
- ■お部屋の温度が5℃以下の場合は、除湿した水が凍りつくのを防止するため、除湿せずに送風運転になります。

■除湿量について

- ■お部屋の温度が低くなるにつれて、除湿量は少なくなります。また、同じお部屋で連続して除湿すると、湿度が下がるため、除湿量は減っていきます。

【CD-H1013】
（湿度60%の場合）
除湿量（L／日）
60Hz
50Hz
部屋の温度（℃）

■霜取りについて

- ■お部屋の温度が約18℃以下になると、熱交換器に霜が付きます。その場合、霜取り運転をおこないます。
- ■霜取り運転中は霜取中ランプが点灯します。霜取りが完了すると、霜取中ランプが消灯します。

■運転中は室温が上昇します。

- ■除湿機は冷房機ではありませんので、お部屋を冷やすことはできません。
- ■運転中は排熱のため、ご使用条件によって、室温が2℃～4℃またはそれ以上上昇します。

十分なスペースをとる
50cm以上
20cm以上
20cm以上
20cm以上
20cm以上

■湿度表示について

- ■除湿機の湿度表示と、お部屋の湿度計の表示が異なることがあります。湿度は、同じ室内でも場所により差があります。湿度表示は目安としてお使いください。

■吹出口と吸込口はふさがないでください。

- ■壁・障害物から十分スペースをとってください。
- ■吹出口・吸込口がふさがっていると、除湿機の保護制御がはたらき運転できないことがあります。

■アルミフィンについて

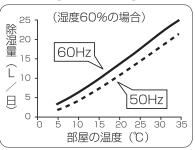
- ■熱交換器に使用しているアルミフィンは、性能向上のため樹脂の表面処理を実施しています。銅管のろう付けの際の熱により変色やゆがんでいる部分が一部ありますが、性能および耐食性など何ら影響ありません。

■切り忘れ防止機能について

- ■切り忘れ防止のため、24時間操作しないと運転を停止します。

■冷媒に関するご注意

この家庭用除湿機には、下表に示すCO_2（温暖化ガス）量に相当するフロン類が封入されています。
地球温暖化防止のため修理・廃棄等にあたっては冷媒フロン類の適切な処理が必要です。
お住まいの地域の方法に従い廃棄してください。
フロンに関するお問い合わせは、お近くのコロナサービスセンターまでお願いします。

型　式	CO_2（温暖化ガス）換算量
CD-H1813	317kg
CD-H1013	215kg

衣類乾燥について

衣類乾燥の上手な使いかた

上手に使うことで、洗濯物をより効果的に乾かすことができます。洗濯物を早く乾かすには「室温を上げること」「お部屋の湿度を下げること」「洗濯物に風をよく当てること」がポイントです。

洗濯物を干す部屋について

■小さなお部屋で、閉めきって運転すると効果的です。
■乾いたらなるべく早く取り込んでください。
梅雨時や雨の日などは、乾いても干したままにしておくと、また湿気を吸収します。

干しかたについて

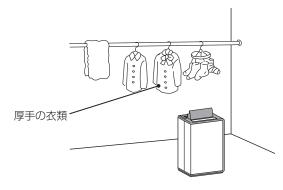
■洗濯物に除湿機の風が当たるように、除湿機を置いてください。
■風向を調節（☞ 9ページ）して、洗濯物に風がよく当たるようにしてください。上下ルーバーをスイングさせるとより効果的です。
■洗濯物を干すときは、風が奥まで通るように、適度に間隔をあけて干してください。
■厚手の衣類は乾くまでに時間がかかります。除湿機の風がよく当たるように、除湿機の真上か後ろ側の中央に優先して干してください。また、洗濯物のシワをしっかり伸ばしてください。
■ジーンズやスカートなどは裏返しにして、風通しをよくして干すと、乾きやすくなります。
■Tシャツや下着などの薄手の衣類は乾きやすいので、除湿機から離れた側に干してください。
■ときどき除湿機の位置をかえたり、洗濯物の並べかたをかえたりすると、乾きやすくなります。

■除湿機の真上に干す場合
洗濯物の下に除湿機を置いてください。**厚手の衣類は除湿機の真上に干して、**一番遠い洗濯物に風が届いていることを確認してください。

【除湿機の真上に干す場合】

■除湿機の後ろ側に干す場合
厚手の衣類は除湿機の後ろ側の中央に干して、一番遠い洗濯物に風が届いていることを確認してください。

〈次の場合、乾きにムラがでることがあります〉
■洗濯物の量が多いとき
■洗濯物を重ねて干しているとき
■洗濯物に除湿機の風が当たりにくいとき
除湿機を置く位置や洗濯物を干す位置をかえて、洗濯物に除湿機の風が当たるようにしてください。
■室温が低いとき
低温時は、常温時よりも乾燥に時間がかかり、乾く前に除湿機が運転を停止することがあります。暖房機器の併用をおすすめします。
■お部屋が広いとき
お部屋の湿度が下がりにくいため、乾燥に時間がかかり、乾く前に除湿機が運転を停止することがあります。

【除湿機の後ろ側に干す場合】

⚠注意	禁止	**吹出口や吸込口を洗濯物などでふさがない** 風通しが悪くなり、発熱・発火の原因になることがあります。

お願い

■自動停止後、洗濯物の乾きが不十分なときは再び運転してください。
■洗濯物を除湿機の真上に干す場合は、洗濯物が落下して吹出口をふさがないように注意してください。

ご使用前に

各部のなまえとはたらき

正面

上下ルーバー
運転中は必ず上下ルーバーを開いた状態で使用してください。（☞ 9ページ）

左右ルーバー
（4枚）
（☞ 9ページ）

吹出口
除湿した空気を吹き出します。

操作部
（☞ 6ページ）

タンク排水口

タンクハンドル

タンクふた

フロート

水位窓

タンク
除湿した水をためます。満水になると、自動的に運転がとまります。
（☞ 11ページ）

お買いあげ時、タンクに水が残っている場合がありますが、工場での除湿テストによるもので異常ではありません。

背面

とって
ご使用中は、とってを下げてください。

フィルターケース（吸込口）

エアフィルター（抗菌・防カビネット）
吸い込まれる空気中のほこりやゴミを取り除きます。
室内の湿った空気を吸い込みます。（☞ 6・12ページ）
（フィルターケースにセットされています）

除菌・脱臭シート（付属品）
（☞ 6・12ページ）
（1枚）

型式・製造年
銘板に表示されています。

連続排水穴
（☞ 11ページ）

コード掛け穴

電源プラグ

コードバンド

電源コード

キャスター（4ヵ所）
（☞ 10ページ）

操作部

※操作部イラストはCD-H1813

湿度/切タイマー表示部
運転中は、お部屋の湿度を表示します。（表示範囲は、30～90%です）切タイマー設定の操作中は、運転停止までの時間の目安を表示します。(☞ 7・8・10ページ)

除湿 ボタン/ランプ(緑)
除湿運転をおこないます。ボタンを1回押すごとに運転の種類が切りかわり、現在の運転状態をランプの点灯で示します。（☞8ページ）

左右ルーバー ボタン/ランプ(緑)
※CD-H1813のみ
左右ルーバーのスイングのON/OFFを切りかえます。スイング運転中にランプの点灯で示します。
（☞9ページ）

切タイマー/内部乾燥 ボタン/ランプ(緑)
運転中にボタンを押すと切タイマーが設定され『切タイマーランプ』が点灯します。停止中にボタンを押すと内部乾燥運転を開始し、『内部乾燥ランプ』が点灯します。（☞ 10ページ）

衣類乾燥 ボタン/ランプ(緑)
衣類乾燥運転をおこないます。ボタンを1回押すごとに運転の種類が切りかわり、現在の運転状態をランプの点灯で示します。（☞7ページ）

霜取中ランプ(緑)
霜取り運転中に点灯します。
(☞ 3ページ)

満水ランプ(赤)
タンクが満水のときや、本体に取り付けられていないときに点滅して、満水メロディが鳴り、運転を停止します。
(☞11ページ)

上下ルーバー ボタン/ランプ(緑)
上下ルーバーのスイング方向を切りかえます。ボタンを1回押すごとにスイングの種類が切りかわり、現在のスイング状態をランプの点灯で示します。（☞ 9ページ）

運転 入/切ボタン
運転『入』と『切』を切りかえます。
操作音：『入』 ピッ
『切』 ピーッ
(☞ 7・8ページ)

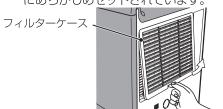
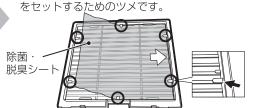
お知らせ

■湿度表示は目安であり、お部屋の広さや設置場所などによっては、お部屋の湿度計の表示とは異なる場合があります。
■輸送時のキズを防止するために操作部の表面に保護シートを貼っていますので、ご使用時に取り除いてください。
まれに保護シートがついていない場合があります。

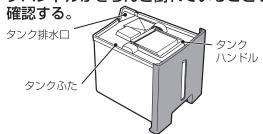
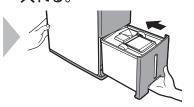
使いかた

準備と確認

除菌・脱臭シートの取り付け

①フィルターケースを取りはずす。
下側を持ち、手前に引いて取りはずしてください。
・エアフィルターは、フィルターケースにあらかじめセットされています。

②ポリ袋から除菌・脱臭シートを取り出し、フィルターケース内側の左右の大きなツメ(4ヵ所)と上下のツメ(2ヵ所)に取り付ける。
※左右の小さなツメ(4ヵ所)は、エアフィルターをセットするためのツメです。

③フィルターケースを取り付ける。
フィルターケース上側の突起を吸込口上側の穴に差し込んでから、下側をはめ込んでください。

タンクの確認

①タンクを取り出し、タンクふた、タンク排水口が確実に閉まっていること、タンクハンドルがきちんと倒れていることを確認する。

②本体を押さえながら、タンクの下側のとってを持ち、静かに確実に奥まで入れる。

電源プラグをコンセントに差し込む ピッ

交流100Vのコンセントに差し込んでください。ピッと音が鳴ります。上下ルーバーが開いていれば、自動で閉じます。

お願い

■エアフィルターをはずしたまま運転しないでください。除湿機内部にほこりが入り、故障の原因になります。
■タンクは正しく入れてください。正しく入っていないと、満水ランプが点滅して運転できません。
■タンクふた、タンク排水口は確実に閉めてください。水もれの原因になります。

衣類乾燥をしたいとき

衣類乾燥運転の「標準」や「厚物」では、除湿機周囲の湿度と温度をセンサーで確認し、**洗濯物が乾いた頃に運転を自動停止**します。「eco」と「夜干し」では自動停止せず、連続で運転します。
衣類が乾く前に満水で運転が停止するのを防止するため、タンクの水をすててから運転を開始してください。

運転開始

※操作部イラストはCD-H1813

① 運転 入/切 を押す ピッ

上下ルーバーが自動で開き、運転を開始します。表示部に現在のお部屋の湿度が表示されます。 65

〈例：お部屋の湿度が65%のとき〉

② 衣類乾燥 を押す ピッ

お好みの運転の種類に切りかえます。

運転の種類

運転切換	操作部	使いかた	運転内容
eco	(eco点灯)	電気代を節約して乾かしたいとき	ヒーターを併用しないで、湿度を約60%に保ちながら連続で運転します。 「標準」よりも乾燥に時間がかかります。
夜干し	(夜干し点灯)	音ひかえめで乾かしたいとき	ヒーターを併用しないで、風量を下げて連続で運転します。 「標準」よりも乾燥に時間がかかります。タンクが満水になると、除湿をしないで送風で運転を継続します。
標　準	(標準点灯)	速く乾かしたいとき	ヒーターを併用して、温風を出して運転します。（自動停止）
厚　物	(厚物点灯)	乾きにくい厚手の衣類を乾かしたいとき	「標準」と同じ運転をしたあとに、約2時間、衣類の上部(風が当たりにくく乾きにくいところ)を中心に風が当たるように、風向範囲をせまくして運転します。(自動停止)　厚手の衣類は、除湿機の真上か後ろ側の中央に干してください。上下ルーバーや左右ルーバーがスイングしていないときは、風向はかわりません。

③風向を選ぶ （☞ 9ページ）

洗濯物の位置に合わせて風向を選んでください。

※左右ルーバーボタン/ランプはCD-H1013にはありません。
CD-H1013の左右ルーバーは、手で動かして調節してください。

運転停止

① 運転 入/切 を押す ピーッ

運転を停止します。各ランプ・表示部が消灯し、上下ルーバーが閉じます。
※「標準」や「厚物」では、洗濯物が乾いた頃に自動で運転を停止します。

お願い

■運転を停止した直後に、電源プラグをコンセントから抜かないでください。「標準」や「厚物」で運転していたときは、ヒーターを冷却するため運転停止後約30～60秒間自動的に送風運転をおこない、その後上下ルーバーが閉じます。

「標準」や「厚物」で連続運転したいとき

運転停止中に **を3秒以上押す** ピッ

設定後に「標準」や「厚物」で運転させると、自動停止せずに連続で運転します。「標準ランプ」または「厚物ランプ」が点滅して表示します。もとに戻したいときは、操作をもう一度おこなうか、電源プラグを抜き差ししてください。

お知らせ

■電源プラグをコンセントに差し込んで「運転 入/切ボタン」を押すと、初回は「除湿　自動」で運転しますが、次回からは運転の種類を記憶し、停止前と同じ運転をおこないます。
■「標準」や「厚物」で運転中に切タイマーを設定（☞ 10ページ）すると、自動停止より優先されます。そのため設定時間によっては、洗濯物が乾く前に停止したり、乾いた後も運転し続けることがあります。
■「厚物」で連続運転していて、上下ルーバーや左右ルーバーがスイングしているときは、衣類の上部（風が当たりにくく乾きにくいところ）を中心に風が当たるように、風向範囲をせまくして運転することがあります。
■運転を停止してすぐに再運転したときは、機器保護のため約3分間送風運転をおこないます。
■タンクの水をすててから運転してください。満水で運転を停止し、洗濯物が乾かないことがあります。
■切り忘れ防止のため、24時間以上操作しないと運転を停止します。
■室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がるときがあります。

除湿をしたいとき

運転開始

※操作部イラストはCD-H1813

① 運転 入/切 **を押す** ピッ

上下ルーバーが自動で開き、運転を開始します。表示部に現在のお部屋の湿度が表示されます。 65

〈例：お部屋の湿度が65%のとき〉

② 除湿 **を押す** ピッ

お好みの運転の種類に切りかえます。

運転の種類

運転切換	操作部	使いかた	運転内容
自動	除湿 ●自動 ○弱 ○強 ○冬モード	快適な湿度を保ちながら、ムダな運転をおさえたいとき	湿度センサーのはたらきで、お部屋の湿度を約60%の適湿状態に自動的にコントロールします。
弱	除湿 ○自動 ●弱 ○強 ○冬モード	おやすみのときなど運転音をおさえたいとき	お部屋の湿度に関係なく、風速「弱」で連続除湿運転をおこないます。
強	除湿 ○自動 ○弱 ●強 ○冬モード	急いで湿気をとりたいとき	お部屋の湿度に関係なく、風速「強」で連続除湿運転をおこないます。
冬モード	除湿 ○自動 ○弱 ○強 ●冬モード	冬場の室温が低いときに、除湿効果を高めたいとき	室温が約10℃以下のときに、自動でヒーターを併用して吹き出す風の温度を上げて、「除湿 強」で運転します。（室温が10℃以上のときは、ヒーターを併用しないで、「除湿 強」で運転します）

③風向を選ぶ （☞ 9ページ）

お好みの風向を選んでください。

※左右ルーバーボタン/ランプはCD-H1013にはありません。
CD-H1013の左右ルーバーは、手で動かして調節してください。

運転停止

① **を押す** ピーッ

運転を停止します。
各ランプ・表示部が消灯し、上下ルーバーが閉じます。

お願い

■運転を停止した直後に、電源プラグをコンセントから抜かないでください。「冬モード」でヒーターを併用して運転していたときは、ヒーターを冷却するため運転停止後約30～60秒間自動的に送風運転をおこない、その後上下ルーバーが閉じます。

お知らせ

■電源プラグをコンセントに差し込んで「運転 入/切ボタン」を押すと、初回は「除湿 自動」で運転しますが、次回からは運転の種類を記憶し、停止前と同じ運転をおこないます。
■運転を停止してすぐ再運転したときは、機器保護のため約3分間送風運転をおこないます。
■切り忘れ防止のため、24時間以上操作しないと運転を停止します。
■室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がるときがあります。

風向の切りかえ

ルーバーを使って、風向を切りかえることができます。用途に合わせてお選びください。「衣類乾燥」「除湿」運転中に設定することができます。

※操作部イラストはCD-H1813

上下方向の風向

・運転中に [上下ルーバー] を押して、スイング方向を選ぶ

運転切換	操作部	使いかた
上吹き	上下ルーバー ●上吹き ○後吹き ○ワイド	衣類などを乾かすとき
後吹き	上下ルーバー ○上吹き ●後吹き ○ワイド	押入れなどを除湿するとき
ワイド	上下ルーバー ○上吹き ○後吹き ●ワイド	部屋全体を除湿するとき
スイング停止	上下ルーバー ○上吹き ○後吹き ○ワイド (上下ルーバーランプ消灯)	上下ルーバーをお好みの角度で止めたいとき「ワイド」スイング中に、上下ルーバーがお好みの位置にきたところで「上下ルーバーボタン」ピッを押して停止させてください。

左右方向の風向

【CD-H1813の場合】

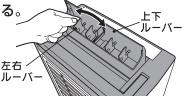
・運転中に [左右ルーバー] を押して、左右の送風範囲を選ぶ

運転切換	操作部	使いかた
オートスイング	左右ルーバー ●オートスイング	左右ルーバーがスイングして、広い範囲に送風します。
スイング停止	左右ルーバー ○オートスイング (左右ルーバーランプ消灯)	左右ルーバーをお好みの角度で止めたいとき「オートスイング」中に、左右ルーバーがお好みの角度になったところで、「左右ルーバーボタン」ピッ を押して停止させてください。左右の送風範囲を調節することができます。

【CD-H1013の場合】

・上下ルーバー停止中に、手で左右ルーバーを動かして、左右の送風範囲を調節する。
左右ルーバーの角度をかえることで、左右の送風範囲を調節することができます。

お知らせ

■吹き出し方向によって、風を吹き出す音がかわります。
■位置合わせのために、上下ルーバーや左右ルーバーが一時的に止まることがありますが、その後動き出します。

お願い

■CD-H1813の左右ルーバーの角度を調節するときは、手で動かさないでください。
左右ルーバーが破損する原因になります。必ず「左右ルーバーボタン」を押して調節してください。
■CD-H1013の左右ルーバーを手で動かすときは、上下ルーバーを停止してからおこなってください。
上下ルーバーや左右ルーバーが破損する原因になります。
■上下ルーバーや左右ルーバーを手で動かすときは、無理に動かさないでください。
上下ルーバーや左右ルーバーが破損する原因になります。

⚠警告 禁止 **吹出口に指や棒を入れない**
内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になります。

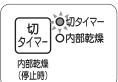
⚠注意 禁止 **スイングしているルーバーにさわらない**
指や手をはさむなどのけがの原因になることがあります。

切タイマーを使うとき

切タイマー設定のしかた（運転 ⇒ 停止）

運転中に を押す ピッ

■「切タイマーボタン」を1回押すごとに、湿度/切タイマー表示が「1時間」から「9時間」まで1時間ごとに切りかわります。
■「切タイマーボタン」を押してから、5秒以上経過すると湿度表示に戻ります。
■切タイマー設定中は「切タイマーランプ」が点灯します。
■設定した時間が経過すると運転を停止します。
■残りの運転時間を確認するときは、「切タイマーボタン」を押してください。残り時間が表示されます。
■残り時間の表示中に「切タイマーボタン」を押すと、設定しなおすことができます。

湿度表示（切タイマー設定なし）→1H→2H→8H→9H

お知らせ

■切タイマーを設定すると、衣類乾燥運転（標準、厚物）の自動停止（☞ 7ページ）より優先されます。そのため設定時間によっては、洗濯物が乾く前に停止したり、乾いた後も運転し続けることがあります。
■停止中に「切タイマーボタン」を押すと、内部乾燥運転をおこないます。

内部乾燥運転をしたいとき

運転停止後や、長期間お使いにならないときに内部乾燥運転をすると、除湿機内部を乾燥させ、いやな臭いの原因となるカビや細菌の繁殖をおさえます。

運転停止中に を押す ピッ

■内部乾燥運転中は、上下ルーバーは「上向き」で送風運転します。
「内部乾燥ランプ」のみ点灯します。
■約1～1.5時間後に自動停止します。
（途中で運転を停止したいときは、「運転 入/切ボタン」を押してください）

お知らせ

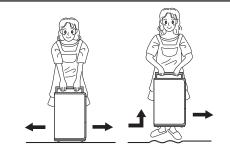
■衣類乾燥運転や除湿運転中に「切タイマーボタン」を押すと、切タイマーが設定されます。運転を停止してから操作してください。
■満水ランプ点滅中（タンクが満水になっている、またはタンクが本体に入っていない）は、内部乾燥運転をすることができません。
■本体内部にこもった湿気を吹出口より放出するため、室内の湿度が上がることがあります。
■すでに発生したカビや雑菌を除去するはたらきや、殺菌効果はありません。

移動するとき

<table>
<tr><td rowspan="2">⚠注意</td><td>
必ず守る</td><td>除湿機を移動するときは、運転を停止して電源プラグを抜き、必ずタンクの水をすてる
タンクは、運転を停止してなるべく30分以上待ち、本体内部の水をタンクに落としてから取り出してください。</td></tr>
<tr><td>
必ず守る</td><td>上下ルーバーが閉じた状態で、とってを持って移動する
上下ルーバーが開いていたり、上下ルーバーや左右ルーバーを持って移動すると、指や手をはさむなどのけがやルーバーが破損する原因になることがあります。</td></tr>
</table>

■横方向には、キャスターを使って移動できます。
■キャスターを使って移動するときは、とってを持ち、静かに移動してください。
■方向転換するときは、とってを持って除湿機を持ち上げ、方向をかえてください。
■部屋間の仕切りや、凹凸のある場所、階段、傷のつきやすい床、じゅうたんなどでは、とってを持って除湿機を持ちあげて移動してください。

お願い

■除湿機を傾けて移動すると、床の表面を傷つけます。また、除湿機内の残水がこぼれ床などをぬらすことがあります。
■キャスターで本体を移動するときに、床の材質によっては床に傷がつくおそれがあります。
傷のつきやすい床では、とってを持って除湿機を持ちあげて移動してください。

満水のお知らせと排水のしかた

満水のお知らせ

タンクに約4.5Lの水がたまると、自動的に運転を停止し、「満水ランプ」の点滅と満水メロディでお知らせします。
・水位窓の満水目盛りが、満水で停止する目安になります。

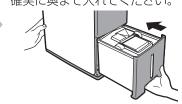
排水のしかた

①タンクを静かに取り出す。

運転停止直後にタンクを取り出すと、残っている除湿水が本体内部に滴下することがありますので、なるべく30分以上経ってから取り出してください。(滴下した水はふき取ってください)

②タンク排水口を開け、タンクをゆっくり傾けて水をすてる。

③タンクを本体に戻す。

タンク排水口を確実に閉め、タンクふたの浮きがないことを確認し、タンクハンドルを倒してからタンクを確実に奥まで入れてください。

満水メロディを鳴らしたくないとき

運転停止中に **を3秒以上押す** ＜ピッ

もとに戻したいときは、操作をもう一度おこなうか、電源プラグを抜き差ししてください。

お願い

■タンクは正しく入れてください。正しく入っていないと、満水ランプが点滅して運転できません。
■タンク排水口は確実に閉めてください。タンクの出し入れができないことがあります。
■タンクふた、フロートははずさないでください。正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。

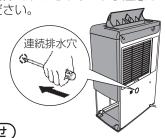
連続排水のしかた

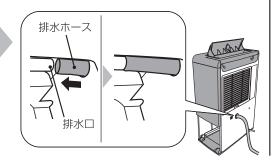
⚠注意	
必ず守る	**連続排水する場合は、排水ホースの折れ曲がり・落差などに注意し、確実に排水するようにする** 水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。排水ホースは定期的に点検してください。
必ず守る	**排水ホースを使用する場合は、排水ホースの周囲が氷点下にならないようにする** 排水ホース内部の水が凍結し、除湿機内部の水が室内に水もれして家財などをぬらす原因になることがあります。

近くに排水できる場所があれば、市販のホースを取り付けることで連続排水ができます。タンクの水捨ての手間がかからず便利です。
※必ず運転を停止し、電源プラグをコンセントから抜いたのち、以下の作業をおこなってください。

ご用意いただくもの
・排水ホース（市販のホース、内径15～16mm）
・マイナスドライバーなど
・ヤスリなど

①タンクを取り出し、本体背面の連続排水穴を開ける。

連続排水穴をマイナスドライバーなどで取りはずし、切断部をヤスリなどで仕上げてください。
・切断部でけがをしないよう注意してください。

②排水ホースを取り付ける。

連続排水穴にホースを通し、内部の排水口にしっかり差し込んでください。

③タンクを本体に戻す。

タンクを戻さないと運転できません。

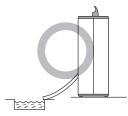
④試運転をおこなう。

排水ホースを取り付け後は、試運転をおこない、ホースから確実に排水されることを確認してください。

お知らせ

■切り忘れ防止のため、24時間以上操作しないと運転を停止します。

お願い

■排水ホースは、排水方向に対して必ず下り勾配で取り付けてください。
■排水ホースの先端が水につかっている場合や、途中で高くなったり折れ曲がっている場合は排水できません。
■排水ホースの差し込みが確実におこなわれないと、水もれするおそれがあります。

お手入れ

⚠注意

お手入れをするときは必ず運転を停止し、電源プラグを抜く
内部でファンが高速回転しているため、けがの原因になることがあります。

除湿機を水洗いしない
除湿機内部に浸水して電気絶縁が劣化し、感電や漏電火災の原因になることがあります。

■40℃以上のお湯は使わないでください。変形することがあります。
■ベンジン、シンナー、みがき粉、化学ぞうきんなどは使用しないでください。変形や割れることがあります。

エアフィルターのお手入れ（2週間に1回程度）

2週間に1回程度、お手入れしてください。エアフィルターにほこりがつまると風量が減少し、除湿能力が低下します。

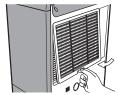
①フィルターケースを取りはずす。

②フィルターケースからエアフィルターや除菌・脱臭シートを取りはずし、掃除機を使用するか、軽くたたいてほこりを取り除く。

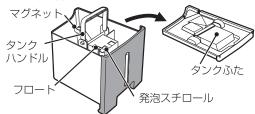
掃除機を使用する場合は、エアフィルターや除菌・脱臭シートを吸い込まないように注意してください。

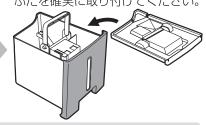
掃除機が便利です

③フィルターケースにエアフィルターや除菌・脱臭シートを取り付けてから、本体に取り付ける。

（☞6ページ）

お願い
■掃除機を使用するときは、ブラシ付ノズルは使わないでください。破損・変形の原因になります。
■エアフィルターをはずしたまま運転しないでください。除湿機内部にほこりが入り、故障の原因になります。
■エアフィルターや除菌・脱臭シートは水洗いしないでください。破損の原因になります。

タンクのお手入れ

①タンクふたを取りはずす。
タンクハンドルを立ててから、タンクふたを上方向に引き上げて取りはずしてください。

②タンクふたとタンクを水洗いする。
洗い終わったら、水分をふき取ってください。

③タンクふたを取り付ける。
タンクハンドルを立てて、タンクふたを確実に取り付けてください。

お願い
■フロートや、フロートに取り付けられているマグネットや発泡スチロールは、はずさないでください。
正しく取り付けられていないと、運転しなかったり、水もれの原因になります。
■お手入れ後は、タンクふた、タンク排水口を確実に閉めてください。水もれの原因になります。

本体のお手入れ

本体は、柔らかい布でからぶきする。

長期間使わないとき

運転停止後、なるべく1日以上おいて本体内部の水が落ちきってから、以下の作業をしてください。

①内部乾燥運転をする。（☞10ページ）
②運転停止後、電源プラグを抜く。電源コードをコードバンドでまとめて、本体背面のコード掛け穴に引っ掛ける。
③タンクの水をすてる。
④エアフィルター、タンク、本体のお手入れをする。
⑤本体やタンクに付着した水滴をふき取り、タンクを本体に戻して、本体にポリ袋などをかぶせる。
⑥湿気が少なく直射日光の当たらない場所に、立てたまま保管する。

お願い
■本体は立てたまま保管してください。傾けると、故障の原因になります。

定期整備のおすすめ

除湿機を数シーズンご使用になりますと内部が汚れ、性能が低下することがあります。除湿機を長持ちさせるため通常のお手入れとは別に点検整備をおすすめします。点検整備は、お買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にご相談ください。

別売品について

下記の別売品を用意しております。
お近くの販売店でお買い求めください。

除菌・脱臭シート
(型式：CD-DS1･･･1枚入)

除菌・脱臭シート
〔材質：ポリエステル＋レーヨン〕

お知らせ
■交換の目安は約1年です。
■ひどく汚れたときは早めの交換をおすすめします。
■汚れた除菌・脱臭シートは、洗って再使用することはできません。
■一酸化炭素や有毒ガスを除去する効果はありません。

故障かな？と思ったら

修理・サービスをお申しつけになる前につぎの点をお調べください。

	症　状	原　因
故障ではありません	運転中なのに送風機だけが運転している	■「除湿 自動」で運転しているときは、お部屋の湿度が低下して適湿状態になると、送風運転になります。 ■霜取り運転中は、霜取中ランプが点灯して送風運転になります。
	本体表面があたたかくなる	■運転中はコンプレッサーやヒーターの熱のためあたたかくなりますが、異常ではありません。
	運転中や停止直後に〝シュル〟〝シュル〟と音がする	■内部の冷媒（冷却液）が流れる音です。異常ではありません。
	運転中に、自動的に風量がかわる	■室温が約32℃以上のときは、機器保護のため自動的に風量が上がるときがあります。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■吸込口や吹出口がふさがれていませんか。
	吹出口から温風が出る	■運転時の吹出風は、コンプレッサーで発生する熱のため室温より高くなります。 ■衣類乾燥運転（標準・厚物）および冬モード運転時は、ヒーターを併用するため温風が出ます。
	タンクに露がつく	■除湿水が冷たいため、湿度が高いときは露がつくことがあります。
	たまに「ピシ」という金属のあたる音がすることがある	■部品が熱膨張・収縮するときの音です。異常ではありません。
	運転のはじめに若干臭いがする	■この製品はヒーターを搭載しています。 運転のはじめに若干臭いを感じることがありますが、異常ではありません。
もう一度お調べください	運転しない	■タンクが正しく入っていますか。 ■タンクが満水になっていませんか。 ■電源プラグがコンセントにしっかり入っていますか。 ■ご家庭のブレーカーやヒューズが切れていませんか。 ■停電ではありませんか。
	除湿能力が低下した	■エアフィルターが目詰まりしていませんか。 ■吸込口や吹出口がふさがっていませんか。 ■お部屋の温度、湿度が低くありませんか。
	なかなか湿度が下がらない	■ドア、窓の開閉が多くありませんか。 ■石油ストーブ、その他水蒸気が出るものがありませんか。 ■お部屋が広すぎませんか。
	音がうるさい	■不安定なところに置いていませんか。 ■エアフィルターが目詰まりしていませんか。
	洗濯物がなかなか乾かない	■洗濯物に吹出風があたっていますか。 ■広いお部屋で乾かしていませんか。 ■洗濯物の量が多くありませんか。 ■室温が低くありませんか。　（☞ 4・7ページ）

本体の湿度/切タイマー表示部に下記の表示がでた場合は故障です。

〈エラー表示例：E1の場合〉
E1

〈その他のエラー表示〉
E2、E3、E4
E5、E6、E7

運転を停止して電源プラグを抜いたあと、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターに修理を依頼してください。その際、表示内容をお知らせください。

つぎの症状のときも、ただちに運転を停止して電源プラグを抜き、お買いあげの販売店またはコロナサービスセンターにご連絡ください。

- ■ヒューズやブレーカーがたびたび切れるとき
- ■電源プラグや電源コードの被覆が破れているとき
- ■誤って異物や水を入れてしまったとき
- ■電源プラグや電源コードが異常に熱いとき
- ■ボタンの作動が不確実なとき
- ■使用中に異常音がするとき
- ■その他、異常のあるとき

保証とアフターサービス

保証書について

■このコロナ衣類乾燥除湿機には「保証書」が付いています。（裏表紙に印刷されています）
「お買いあげ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受けとりになって、大切に保管してください。
■保証期間はお買いあげいただいた日から1年間です。ただし、冷媒回路の保証期間は3年間です。
■この製品は日本国内専用です。電源電圧や電源周波数の異なる外国では使用できません。また、アフターサービスもできません。

修理を依頼されるとき

■本書の「知っておいていただきたいこと」「故障かな？と思ったら」（☞ 3・13ページ)を調べていただき、それでも異常があるときは、運転を停止して電源プラグを抜いたのち、お買いあげの販売店またはお近くのコロナサービスセンターにご連絡ください。ご連絡いただきたい内容は次の通りです。

- ■型式
- ■お買いあげ日

｝裏表紙の保証書をごらんください。

- ■故障状況（できるだけ具体的にご連絡ください）
- ■ご住所・お名前・電話番号

■修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証期間中であれば保証書の規定にしたがって無料修理させていただきます。
■ご不明な点や修理に関するご相談は、お買いあげの販売店またはお近くのコロナお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

■保証期間が過ぎているときは

■お買いあげの販売店にご相談ください。修理によって使用できる製品についてはお客様のご要望により有料修理いたします。

■補修用性能部品の保有期間

■衣類乾燥除湿機の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の保有期間は製造打ち切り後8年です。

お客様ご相談窓口一覧表

修理サービスや製品についてのご相談は機種名をご確認の上、お買いあげの販売店または下記のご相談窓口にご依頼ください。

ご転居やご贈答品などでお困りの場合は、下記のお近くの窓口にご相談ください。

名称、所在地、電話番号は、変更する場合がありますのでご了承ください。

●アフターサービスのお問い合わせは下記へどうぞ

コロナサービスセンター

0120-919-302
（修理受付専用ダイヤル）

携帯電話・PHS等からは最寄のサービスセンターへ直接おかけください。

FAX 0120-919-322

受付時間　午前9時〜午後7時(日曜、祝祭日は除く)

地区	名称	所在地	〒	TEL	FAX
北海道地区	札幌支店	札幌市白石区平和通16丁目南1-19	〒003-0028	TEL(011)864−0440(代表)	FAX(011)863−3154
	旭川営業所	旭川市東旭川南1条2丁目2-5	〒078-8261	TEL(0166)37−2330(代表)	FAX(0166)37−2338
	北見営業所	北見市卸町1丁目1-3	〒090-0056	TEL(0157)36−9009(代表)	FAX(0157)36−5959
	釧路営業所	釧路市花園町4-17	〒085-0038	TEL(0154)24−4191(代表)	FAX(0154)24−0451
	帯広営業所	帯広市西18条北1丁目17-1	〒080-0048	TEL(0155)35−7518(代表)	FAX(0155)35−7510
	函館営業所	函館市西桔梗町21-2	〒041-0824	TEL(0138)48−6070(代表)	FAX(0138)48−6080
	北海道地区 サービスセンター	札幌市白石区米里3条2丁目6-25	〒003-0873	TEL(011)879−2121(代表)	FAX(011)871−2400
北東北地区	青森支店	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)742−8255(代表)	FAX(017)742−8275
	青森地区 サービスセンター	青森市古館1丁目12-38	〒030-0946	TEL(017)743−2971(代表)	FAX(017)743−1118
	八戸営業所	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)24−5289(代表)	FAX(0178)45−4290
	八戸地区 サービスセンター	八戸市売市4丁目4-7	〒031-0073	TEL(0178)47−6609(代表)	FAX(0178)71−1344
	弘前営業所	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)28−3910(代表)	FAX(0172)28−0191
	弘前地区 サービスセンター	弘前市田園1-2-1	〒036-8086	TEL(0172)26−4770(代表)	FAX(0172)29−1133
	盛岡営業所	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)622−4791(代表)	FAX(019)622−5244
	水沢営業所	奥州市水沢区水沢工業団地4丁目79	〒023-0002	TEL(0197)22−4155(代表)	FAX(0197)22−4452
	盛岡地区 サービスセンター	盛岡市門2-1-42	〒020-0823	TEL(019)604−0281(代表)	FAX(019)604−0283
	秋田営業所	秋田市泉中央4丁目4-18	〒010-0917	TEL(018)864−5671(代表)	FAX(018)864−8468
	秋田地区 サービスセンター	秋田市外旭川三千刈109-1	〒010-0802	TEL(018)864−5219(代表)	FAX(018)864−5760
南東北地区	仙台支店	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-32	〒983-0035	TEL(022)235−3181(代表)	FAX(022)236−8810
	山形営業所	山形市東青田3-6-28	〒990-2423	TEL(023)642−3255(代表)	FAX(023)642−3254
	庄内営業所	酒田市錦町1-183-1	〒998-0103	TEL(0234)31−0571(代表)	FAX(0234)31−0581
	郡山営業所	郡山市亀田1-51-9	〒963-8033	TEL(024)938−2240(代表)	FAX(024)938−3021
	南東北地区 サービスセンター	仙台市宮城野区日ノ出町1-7-31	〒983-0035	TEL(022)783−1791(代表)	FAX(022)783−1792
関東地区	北関東支店	さいたま市北区宮原町1-674-2	〒331-0812	TEL(048)651−1722(代表)	FAX(048)651−6370
	水戸営業所	水戸市笠原町653-2	〒310-0852	TEL(029)241−2172(代表)	FAX(029)241−4268
	つくば営業所	つくば市谷田部6788-19	〒305-0861	TEL(029)839−5325(代表)	FAX(029)836−1913
	宇都宮営業所	宇都宮市簗瀬町2313	〒321-0933	TEL(028)632−5105(代表)	FAX(028)632−5205
	太田営業所	太田市高林東町2375	〒373-0825	TEL(0276)38−6571(代表)	FAX(0276)38−5508
	高崎営業所	高崎市問屋町西1-3-22	〒370-0007	TEL(027)361−4806(代表)	FAX(027)361−9139
	首都圏支店	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3927−1151(代表)	FAX(03)3927−1160
	立川営業所	立川市高松町1-22-3	〒190-0011	TEL(042)519−5271(代表)	FAX(042)528−2382
	千葉営業所	松戸市高塚新田95-5	〒270-2222	TEL(047)312−8330(代表)	FAX(047)312−8338
	横浜営業所	藤沢市本藤沢2-12-9	〒251-0875	TEL(0466)90−5567(代表)	FAX(0466)90−5568
	甲府営業所	山梨県中巨摩郡昭和町西条2491-2	〒409-3866	TEL(055)268−1567(代表)	FAX(055)268−1569
	関東地区 サービスセンター	東京都北区豊島8-4-8	〒114-0003	TEL(03)3911−1131(代表)	FAX(03)3927−1130
信越地区	新潟支店	三条市曲渕3-2-15	〒955-0864	TEL(0256)32−2126(代表)	FAX(0256)35−8519
	新潟東営業所	新潟市東区江南1-6-41	〒950-0855	TEL(025)286−9131(代表)	FAX(025)286−3313
	長野営業所	長野市大豆島5312	〒381-0022	TEL(026)221−5111(代表)	FAX(026)221−0039
	松本営業所	松本市笹賀大久保原7852	〒399-0033	TEL(0263)26−0051(代表)	FAX(0263)25−9961
	信越地区 サービスセンター	三条市東新保10-26	〒955-0863	TEL(0256)32−2129(代表)	FAX(0256)32−2137
北陸地区	金沢支店	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260−0567(代表)	FAX(076)260−0775
	富山営業所	富山市田中町2-3-15	〒930-0985	TEL(076)444−0567(代表)	FAX(076)444−0611
	福井営業所	福井市和田東1-607	〒918-8237	TEL(0776)23−0567(代表)	FAX(0776)23−0580
	北陸地区 サービスセンター	金沢市駅西新町1-1-25	〒920-0027	TEL(076)260−0038(代表)	FAX(076)260−0738
東海地区	名古屋支店	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746−6600(代表)	FAX(052)884−6551
	岐阜営業所	岐阜市六条南2-7-8	〒500-8358	TEL(058)268−7555(代表)	FAX(058)268−7550
	静岡営業所	静岡市駿河区高松2-15-30	〒422-8034	TEL(054)238−0005(代表)	FAX(054)238−0006
	沼津営業所	沼津市西椎路888-1	〒410-0303	TEL(055)968−6210(代表)	FAX(055)968−6212
	津営業所	津市高茶屋3-29-38	〒514-0819	TEL(059)234−8471(代表)	FAX(059)234−8472
	東海地区 サービスセンター	名古屋市熱田区桜田町16-11	〒456-0004	TEL(052)746−6603(代表)	FAX(052)884−6554
近畿・四国地区	大阪支店	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6380−2111(代表)	FAX(06)6386−7262
	彦根営業所	彦根市正法寺町南出78	〒522-0024	TEL(0749)24−6239(代表)	FAX(0749)26−2116
	京都営業所	京都市伏見区竹田段川原町211	〒612-8414	TEL(075)643−2002(代表)	FAX(075)643−0870
	福知山営業所	福知山市荒河東町68	〒620-0061	TEL(0773)22−0827(代表)	FAX(0773)23−7592
	神戸営業所	神戸市西区枝吉5-132	〒651-2133	TEL(078)922−2431(代表)	FAX(078)922−2438
	高松営業所	高松市今里町1-8-5	〒760-0078	TEL(087)835−1711(代表)	FAX(087)835−0160
	松山営業所	松山市西垣生町780-3	〒791-8044	TEL(089)968−7351(代表)	FAX(089)968−7353
	近畿・四国地区 サービスセンター	吹田市南金田1-8-47	〒564-0044	TEL(06)6386−5670(代表)	FAX(06)6386−5588
中国地区	広島支店	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871−3310(代表)	FAX(082)871−3306
	米子営業所	米子市目久美町235-1	〒683-0035	TEL(0859)33−8157(代表)	FAX(0859)23−0709
	岡山営業所	岡山市北区辰巳35-103	〒700-0976	TEL(086)243−7751(代表)	FAX(086)243−7191
	徳山営業所	周南市徳山字一ノ井手5631-4	〒745-0882	TEL(0834)22−5567(代表)	FAX(0834)22−5589
	中国地区 サービスセンター	広島市安佐南区祇園3-27-20	〒731-0138	TEL(082)871−3315(代表)	FAX(082)871−0272
九州地区	福岡支店	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474−5771(代表)	FAX(092)474−5775
	北九州営業所	北九州市小倉北区愛宕2-6-4	〒803-0828	TEL(093)592−8611(代表)	FAX(093)592−8666
	長崎営業所	長崎県西彼杵郡時津町左底郷浜田74-1	〒851-2106	TEL(095)882−7710(代表)	FAX(095)882−7767
	熊本営業所	熊本市東区尾ノ上1-11-12	〒862-0913	TEL(096)367−7361(代表)	FAX(096)369−6323
	大分営業所	大分市三佐1-19-7	〒870-0108	TEL(097)523−5161(代表)	FAX(097)523−5162
	宮崎営業所	宮崎市霧島3-59-2	〒880-0032	TEL(0985)29−1680(代表)	FAX(0985)25−0685
	鹿児島営業所	鹿児島市田上7-16-5	〒890-0034	TEL(099)281−1321(代表)	FAX(099)281−1252
	九州地区 サービスセンター	福岡市博多区東比恵2-2-40	〒812-0007	TEL(092)474−6001(代表)	FAX(092)474−6414
沖縄地区	沖縄営業所	宜野湾市宇地泊738 シーサイド・パーク102	〒901-2227	TEL(098)897−5677(代表)	FAX(098)897−5679

08062102

愛情点検

長年ご使用の衣類乾燥除湿機の点検をぜひ！ ●衣類乾燥除湿機の補修用性能部品の保有期間は製造打ち切り後8年です。

このような症状はありませんか

- ■ 運転入/切ボタンを押しても運転しないときがある
- ■ 電源プラグや電源コード等が異常に熱くなる
- ■ こげくさい臭いがしたり、異常な音がする
- ■ 電源コードに触れると通電しなかったりする
- ■ ブレーカー、ヒューズがたびたび切れる
- ■ その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、運転入/切ボタンを押して運転を停止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。
点検・修理についての詳しいことは、お買いあげの販売店にご相談ください。

必要なときに

株式会社

〒955−8510　新潟県三条市東新保7−7
TEL(0256) 32-2111〈代表〉
ホームページ　http://www.corona.co.jp/

コロナ 衣類乾燥除湿機保証書

型式	ご購入機種に○を付けてください	
	CD-H1813	CD-H1013
★お客様	お名前　　　　　　　　様	
	ご住所　〒（　　　－　　　）	
	電話（　　　）　　　－	

本書は、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
お買いあげの日から左記期間中に故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に修理をご依頼ください。

●ご販売店様へ
お買いあげ日、貴店名、住所、電話番号を記入の上(★印欄に記入のない場合は、無効となります)、本書をお客様へお渡しください。

★お買いあげ日		年　　月　　日	
保証期間	対象部分	本　体	冷媒回路（圧縮機・蒸発器 凝縮器・冷媒配管等）
	期　間（お買いあげ日より）	1　年	3　年

★販売店	住所・店名
	電話（　　　）　　　－

●お客様へお願い
お手数ですが、ご住所、お名前、電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記入がない場合は、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

《無料修理規定》

1. 取扱説明書、本体表示等の注意書に従った正常な使用状態で保証期間中に故障した場合には、お買いあげ販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、本書をご提示の上、お買いあげの販売店に依頼してください。なお、離島および離島に準ずる遠隔地への出張修理を行なった場合には、出張に要する実費を申し受けます。また、本品を直接送付される場合の送料は、お客様の負担となります。
3. ご転居の場合は事前にお買いあげ販売店にご相談ください。
4. ご事情により、本保証書に記入してあるお買いあげ販売店に修理がご依頼できない場合には、コロナお客様ご相談窓口一覧表をご覧の上、お近くの窓口にお問い合わせください。
5. 次の場合には保証期間内でも有料修理となります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷
   （ロ）取扱説明書、本体表示等によらないで使用された場合、または適切な点検・手入れを行わなかったことにより発生した不具合
   （ハ）お買いあげ後の輸送、落下等による故障および損傷
   （ニ）火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害、異常電圧などによる故障および損傷
   （ホ）業務用としての使用、車両、船舶への搭載など一般家庭用以外に使用された場合の故障および損傷
   （ヘ）本書にお買いあげ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がない場合
   （ト）本書の提示がない場合
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
   This guarantee is valid in Japan only.
7. 本書は再発行致しませんので紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。
従ってこの保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明の場合は、お買いあげの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは取扱説明書をご覧ください。

※アフターサービスや製品についてのお問い合わせは、お買いあげの販売店または、お近くのコロナお客様ご相談窓口（本書14ページに記載）にお問い合わせください。

株式会社
〒955−8510 新潟県三条市東新保7−7
TEL(0256) 32-2111<代表>
ホームページ　http://www.corona.co.jp/

134WA0451-0　1　2　3　Ⓝ25